

事業所名		児童発達支援Lapole福岡				公表日	2025年 2月 14日		利用児童数	42名		回収数	20名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応						
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	19	1	0	0								
	2	職員の配置数は適切であるか。	17	0	0	2	充分、先生方のご指導が子どもの伸びしろに繋がっている指導だと思う	今後も子供たちの可能性を更に伸ばせる支援(個々に沿ったプログラム実施)を継続して参ります。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	16	0	0	3	声かけで、できている様子で問題ないと思う	更に安全にご利用頂けるように設備を整えて参ります。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	0	0	0	公園やクッキングなどの活動後でも、汚れて帰ってこないところ、とても気をつけてくださっていると感じている。汚れて帰ってきても大丈夫と思っっています。	子どもたちが快適に過ごせる環境を継続して整えて参ります。						
適切 な支 援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	19	0	0	0	よくアセスメント分析され、きちんと指導に繋がっていると感じている。	お子様の成長点・課題点をピックアップし更なるステップアップへ向けて計画書を作成して参ります。						
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	0	0	0	ラポアレの計画書は、どこに困りごとがあり、幼稚園や小学校に子どもの説明をする時にとても役にたっています。	様々な機関にもお渡し出来る様に、誰が見ても分かりやすく表記させて頂いております。今後もより具体的な支援内容を明記して参ります。						
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	19	0	0	0	年々、課題をクリアできているのが家庭で良く見える。個性に合わせ課題を見出して支援してくださいと、ありがたいです。	継続して子どもたちの成長が促せる目標設定を行うと共に、ご家庭での困り事も合わせて乗り越える事の出来る計画書を作成して参ります。						
	8	活動プログラムが固定化されないように工夫されているか。	19	0	0	0	不定期に子どもが喜ぶ、外遊び、災害訓練、クッキング、買い物など、季節の制作など、色々工夫されて楽しいと言っています。	今後も子どもたちにとって楽しめる活動、新しい経験を積める活動を提供して参ります。						
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	10	2	0	6	必要だと思う。外遊びや課外の際など。	地域のお子様との関わる機会を更に増やせるように環境を整えて参ります。						
保護 者へ の説 明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	19	0	0	0	何も問題ありません。わからないところは、質問しやすい雰囲気でお話しさせていただきます。	今後も安心して利用していただけるように、細かな部分も時間を掛けて説明させていただきます。						
	11	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	19	0	0	0	参考にして、わからない部分はないです。	より保護者様に分かりやすい説明が出来る様、整備を進めて参ります。						
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか。	13	4	0	2	必要に応じて対応してくださっている。	保護者様と直接お話をさせて頂く機会を更に増やせるように、環境整備を行って参ります。						
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	19	0	0	0	充分ほど、色んな視点や角度から教えていただき、助かっています。	保護者様とお話させて頂く時間を更に伸ばし、共通認識をより確かな物にできる様環境整備を行って参ります。						
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	18	0	0	1	滞りなく実施してくださっている。	保護者様と直接お話をさせて頂く機会を更に増やせるように、環境整備を行って参ります。						
	15	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催などにより保護者同士の連携が支援されているか。	6	2	4	8								
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	19	0	0	0	全先生方の対応に申し分ないです。	より保護者様に安心してご相談頂ける様に、お声がけいただいた内容に迅速に対応させていただきます。						
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	20	0	0	0								
	18	定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	20	0	0	0								
非常 時等 の対 応	19	個人情報の取扱いに十分に注意されているか。	19	0	0	0	契約書通りと思う。	今後も十分に注意して個人情報を取り扱います。						
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	17	0	0	2	定期的にされているし、お知らせもして下さっているため、周知できている。	保護者様が確認できる場所に掲示しておりますが、より周知・説明出来る様環境を調整して参ります。						
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練が行われているか。	17	0	0	2	定期的を実施してくださって、家庭でも時々、教えてもらったことを伝えてくる。	2~3か月毎に不定期で開催をしております。						
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか。	19	0	0	0	4月や長期休みは、不安定になりやすい。通所に対しては、とても楽しいと話している。	今後もお子様に楽しんで通っていただけるように活動内容に変化を付けたり環境を調整したりと工夫を続けて参ります。						
	23	事業所の支援に満足しているか。	19	0	0	0	ラポアレに通所でき、感謝しかない。年々、良い方向に成長して、幼稚園も楽しく通え、書面や口頭でも色々なことを教えてくださり、助かっています。みなさん、プロ意識と子どもを想う気持ちに視座が高く、本当に素晴らしいなあと思っています。いつもありがとうございます。	今後も保護者様に安心して預けて頂ける様に、継続して支援内容などの様子をお伝えしつつ目標に向かってご家庭と力を合わせて支援を続けて参ります。						

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	児童発達支援lapoale福岡			
○保護者評価実施期間	2024年1月9日		～	2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	2025年3月4日		～	2025年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団のため一人一人の利用者と密に関わることができ、信頼関係や安心感を築きやすい。また、一人の利用者毎に支援方法を変化させることができる。	定員10名に対して午前(4~5名)・午後(5~6名)2クールで分けて小集団にて療育を行なっている。その中で個別で対応が必要な場合は担当スタッフをつけて活動に取り組んでいる。また、利用者の意見や要望を聞き、寄り添いながら目標へ向けた支援を行っている。	それぞれの利用者に丁寧に向き合い、興味関心を引き出し課題に合わせながら遊びを通して成長しながら楽しむ活動に参加できるように環境調整や支援方法を変化させていく。
2	スタッフの見通す目標が明確で、就学を見据えた目標設定・支援方針(支援方法)・活動案の提案が充実している。	就学を見据え、園や学校などの流れと似たスケジュールで支援を行うことで、就学後の生活リズムの基礎を作ることができている。また、スタッフの支援方針としても、就学を見据えて本人の得意を伸ばしつつ、苦手な課題にも挑戦できる様に環境調整しつつ練習を行うなど関わり方の統一が図れている。	利用者毎に異なる、得手不得手をきちんと評価・把握し利用者に合わせて難易度調整・環境調整(支援方法の調整)を行う。また、保護者と就学を見据えた目標設定や利用者の課題・発達の状況を確認し、共通認識を深めていく。
3	保護者と密に話をする機会が多く、さまざまな機関との連携も充実している。(例:関係機関連携会議の実施や担当者会議、モニタリング会議の参加率が高く、参加時の資料作成・移行支援が手厚い)	利用者を通っている園へ直接訪問し、園の先生や保護者を交えた利用者の状況把握・課題の確認を行っている。担当者会議では、相談員を軸に保護者と利用者の目標を確認し、相互間で擦り合わせる事で支援方法を統一し利用者自身が過ごしやすい環境を作っている。	さらに事業所間での連携を図ることができるように、他事業所との関わりや情報共有を行い利用者自身が快適に過ごせる環境を増やしていく。より保護者への説明や、利用者の発達状況を把握する為に話す機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	商業施設内の為、駐車場での移動時に安全管理が必要であること。	駐車場やその他(公園等遊び場へ)の移動時に、危機予測をしながら利用者の対応をするため反応が遅れる可能性がある。	スタッフの見守りや介助量を増やし、利用者や保護者が安心して利用することのできる環境を整備する。事前に危険箇所をリスト化・確認し、スタッフ間で共有することで安全対策に努めていく。
2	保護者間での交流や地域との連携が弱い。	コロナ禍での保護者間関係や横のつながりが持ちにくい流れがそのままになっており、利用いただいている保護者間の交流場所が作れていない。また、敷地面積の関係上、地域の方との交流場所や機会を生むことも難しい。	今後はペアレントトレーニングによる保護者支援や、保護者同士が交流を図れるよう勉強会など交流の場を提供できる機会を検討する。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援Lapoale福岡			公表日	2025年 2月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎日の終礼で職員間の情報共有を行うことができている。	今後も継続して業務改善につながる職員間での意見交換を図る。(今現在、出来ている事を継続していく。)
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	事例検討を不定期に行い、職員の研修する機会が設けられている。	外部の講師による研修会を実施できている。今後も継続して職員の資質向上を目指す。(今現在、出来ている事を継続していく。)
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	アプローチ方法など、随時職員間で共有して実施している。	今後も計画書を軸に職員間で計画に合わせた支援方法を模索し共有していく。(今現在、出来ている事を継続していく。)
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	避難訓練やおやつ買い、交通安全教室、クッキングなど、不定期にイベントを実施している	継続して、利用者が楽しんで取り組める活動プログラムを開催していく。(今現在、出来ている事を継続していく。)
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	活動での評価を毎回実施している。	さらに細かく評価できるように、日々の評価内容の検討を図る。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0			
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	関係連携会議を通じて、保護者様だけでなく、園や他の事業所とも連携を図っている。	ご家庭の事情で開催が難しい保護者様への実施提案アプローチも検討する。	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	卒園児を対象に、引き継ぎシートの作成を行っている。	今後も就学先への移行支援をサポートしていく。(今現在、出来ている事を継続していく。)
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	4	0	外遊びや交通安全教室で屋外に行く際に、一緒に遊んだりする機会がある。	さらに地域の人と関われる機会・環境作りを目指す。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	保護者会は行ってないが、ご家庭で出た困り事の相談があった際は随時、対応の仕方の提案などを行っている。	今後も困り感の相談に親身に対応する等、信頼関係の構築に努めていく。また、保護者会の開催を検討する。
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	34	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	35	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	保護者同士で関われる機会(保護者会など)は実施できていない。	事業所の敷地面積等の問題もあり、ZOOMなどの遠隔での実施等検討する。
	36	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	37	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	連絡帳ツールを用いて保健だより等のお知らせを出したり、活動の様子をインスタにて紹介したりしている。	さらに多くの方・保護者様に周知できるよう、掲載場所や情報発信場所の拡大を検討する。
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	毎年、地震、火災、水害、不審者避難訓練を実施している。	今後も継続して、予告をしつつ実施する。(今現在、出来ている事を継続していく。)
	42	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	44	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	アレルギーをお持ちのお子さんはいません。クッキングやおやつ買いなど、食事提供をする機会がある際は、随時アレルギーの旨を確認している(契約時にも確認済み)。	今後も継続して対応の確認や緊急時のシミュレーションを行っていく。(今現在、出来ている事を継続していく。)
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	46	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	毎月、ヒヤリハットの件数を提示し、時間や場所、対象児などを話し合い、事故防止に努めている。	今後も継続して、定期的にヒヤリハットの事例を確認し再発防止対策に努める。(今現在、出来ている事を継続していく。)
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		